

✿編集後記

本特集では、同病変に対して最先端で診断や治療に当たっている先生方に執筆をお願いした。内容も、内視鏡診断から病理診断、鑑別診断、内視鏡治療やその他の治療方法、フォローアップでの注目点、頸部食道にまたがる病変の対応まで、かなり広い範囲で知見が得られるものとする。さらに耳鼻科医との違いも認識したうえで、どういうアプローチを行っていくのがベストなのかを考えるきっかけにもなると考える。

咽頭・喉頭領域は観察時に苦痛を伴うため、ただ単に通過するだけという概念から脱却し、多くの疾患を診断し治療する時代に突入しているということを意識していただくきっかけになると幸いである。

(飯塚 敏郎)